

## 第46回全国少年柔道大会島根県予選要項

1. 趣 旨 柔道の基本技能を正しく修得し、本県の将来を担う新進とともに健康な小学生児童を育成するとともに、相互の親睦を図る。
2. 主 催 島根県柔道連盟
3. 期 日 令和8年3月8日（日） 9：30～  
8：00～ 選手受付  
※審判員は9：00までをお願いします。  
8：00～8：15 予備計量  
8：15～8：45 本計量  
9：00～9：10 審判・監督会議  
9：30～ 開会式
4. 会 場 島根県立石見武道館 （浜田市黒川町3735 □0855－23－7170）
5. 参加資格 1)参加チームは2025年度に団体登録をしていること。また、選手はその団体から登録をしていること。  
2)参加チームの監督は指導者登録をしていること。（公認指導者資格を記入）  
3)参加する選手は、原則として2026年4月30日現在、小学校5年生・6年生の男・女児童とする。但し、5年生の補充として4年生をもって充てることができる。
6. チーム編成 1)1団体1チームのみ参加できる。（混成チームは認めない）  
2)1チームは監督1名、選手5名とする。（補員は2名とする）  
3)選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生又は4年生とし、学年順に配列する。但し、1学年下の児童が1学年上の位置に出場することはできない。また、選手は学年順に配列し、同学年の選手は体重順に配列すること。（体重の重い選手が大将）補員がいる場合で、4名以下の選手登録は認めない。  
4)選手の変更は申込書に記載された補欠からに限り行うことができる。この場合も、選手は各学年準に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。また一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。  
5)各チーム初戦の選手変更は審判・監督会議前までに行うこと。また、審判・監督会議後の事故等により出場できなくなった場合は欠員のままとする。  
**6)選手が欠ける場合は先鋒詰め・大将詰めとはせず、抜けた種別が空きとなる。**
7. 試合方法 1)トーナメント戦を行う。  
2)各チーム5名の点取り対抗戦とする。  
3)チーム間の勝敗決定方法は、次のとおりとする。  
ア.勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
イ.勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技有り」の勝ち数）による。  
ウ.内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで通常の3分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。（GS は行わ

ない。)なお、引き分けがない場合は、任意の選手とする。

8. 試合細則
- 1) 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
- 2) 試合時間 3分間
- 判定基準 「一本」「技あり」「有効」「僅差(指導差2)」とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
9. 表彰 第1位から第3位まで表彰する。
10. 参加申込
- 1) 締め切り **令和8年1月25日(日)** 必着のこと  
(大変申し訳ありませんが、準備の関係上、期限厳守でお願いします。)
- 2) 申込先 imasan\_hidesan@yahoo.co.jp
- 3) 申込用紙 県柔連のホームページから申し込み用紙をダウンロードして上記アドレスに申込んでください。
- 4) 参加料 1チーム3,000円
- 振込先 **山陰合同銀行 古志原支店 普通 4501343**  
全国少年大会県予選 代表 松岡 熱
- ※申し込み後は、いかなる理由であっても参加料は返却しません。
11. 抽選 令和8年2月1日(日) 島根県柔道選手権大会終了後 島根県立武道館
12. 計量 令和8年3月8日(日) 8:15～8:45 島根県立石見武道館
- 計量時の服装は、Tシャツ・短パンとする。
13. 全国大会 優勝チームは、5月4、5日講道館で開催される全国少年大会に、島根県代表として出場する資格を与える。
14. その他
- 1) 保険については県柔道連盟が下記のものに加入する。
- 死亡傷害 500万円
- 入院時 5,000円/日
- 通院時 3,000円/日
- 2) 柔道着等について
- ア. 柔道着は審判規定に適合したものを着用する。 (「認証ラベル」は不要)
- イ. 所属する団体のゼッケンをつける。
- ウ. 女子は白又は白に近い色の無地のTシャツ若しくは半袖レオタードを着用する。(ワンポイントは可、肌着は不可)
- エ. 試合中に柔道着が破損等した場合は交換できる。(ゼッケンは言及しない。)
- 3) 脳しんとうについて
- ア. 大会1ヶ月以内に受傷した者は脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得る。
- イ. 大会中受傷した者は継続して大会に出場することは不可とする。
- ウ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得る。
- エ. 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対して書面により事故報告書を提出する。
- 4) 個人情報・肖像権について

- ・ 報道機関に掲載の提供を求められた場合は提供をする。参加申込みに記載された個人情報(名前、学校名、学年、階級)、大会中に撮影された写真、又は動画が大会プログラム、県柔連ホームページに掲載される場合があります。また、報道機関等により、報道される場合があります。
- ・ 参加申込みに記載された個人情報、大会中に撮影された写真、又は動画が大会プログラム、県柔連ホームページに掲載される場合があります。また、報道機関等により、報道される場合があります。
- ・ 提出された個人情報等については、大会の利用目的以外に使用することはありません。
- ・ 参加申込みにより、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応させていただきます。

15. 問い合わせ先      島根県柔道連盟事業部長   松岡   熱      TEL 080-5235-1445